

磐田市 磐田市の未来のために 自治会連合会だより

回覧

vol.34

新しい時代「令和」の自治会を思う

5月1日から、元号が「令和」になりました。

新たな歴史のスタートとなる年に、自治会役員になられた方は、期するものがあると思います。「安全で安心な、住んでいて良かったと思える街づくり」に確かな足跡を残していただきたいと願っています。

地域づくり協議会の設立

令和の時代に自治会が抱える問題は、多岐にわたります。高齢者のみ世帯の増加、いじめ・虐待等の人権問題、多発する災害、対人関係の希薄化、人口減少による地域行事の継続困難等が例として挙げられます。

そこで、単位自治会では対応が困難な諸課題を解決し、自治会長の負担軽減を図るため、「地域づくり協議会」が各地域に設置され、以下の目的を持って活動をしています。

- ① 地域活動の企画と運営
- ② 自治会長の負担軽減
- ③ 地域活動の効果的・効率的な運営
- ④ 地域活動参加者の協力体制構築

地域のみなさんで、活動を進めることが大切なので、積極的に地域活動に関わり、みなさんで地域を盛り上げていって欲しいと願っています。

人と自分に一日一善の取り組み

「安全で安心な、住んでいて良かったと思える街づくり」の実現のため、一人ひとりが簡単なことから始める必要があると考えています。自然災害、防犯・交通安全、福祉、青少年健全育成などの諸課題の解決のためには、地域活動が大切です。

自治会連合会には各支部からの代表を委員とする総務部、防災部、住民安全部があり、年間の具体的な活動内容・方針を協議したうえで活動しています。本年度、特に力を入れていく事業を紹介します。

- ① 特殊詐欺被害撲滅 今こそ自治会の組織力を生かし、「市内特殊詐欺被害ゼロ」を実現させたいと強く願っています。
- ② 防犯対策 盗難に関しては、施錠の徹底を周知します。

磐田市自治会連合会長

村上 勇夫

Isao Murakami

1940年長野県長野市出身
1963年河合楽器製作所入社
2000年同社定年退職

在職中は、名古屋、東京、松本、金沢、群馬、埼玉等で汗を流した転勤族。

定年退職後は、地域安全推進委員、少年補導員を経験しながら、自治会活動に関係する知識を習得し、2004年（旧豊田町）森下自治会会長に就任。

くらしの防犯伝導士、ふじのくに災害ボランティアコーディネーター、乙種防火管理者等の資格取得や経験が、現在の自治会活動に役立っている。健康を保つ秘訣は「毎日規則正しく生活すること」。夢は、磐田市が子ども達の笑顔で溢れること。



磐田市自治会連合会 facebook

様々な情報をお伝えしています！
いいね！よろしくお願いします。



家屋の出入り口や窓、駐輪場の自転車に鍵をかける習慣を身に着けることで、被害は大幅に減少します。

- ③ 交通安全対策 高齢者の交通事故の防止に努めます。暗い道の歩行では、自発光式反射材を着用する方を増やし、着用率100パーセントを達成させたいと考えています。
- ④ 福祉分野 困っている方々に手を差し伸べる方法として、日本赤十字社や社会福祉協議会への募金の協力等により、被災者や生活困窮者支援に貢献していければと考えています。
- ⑤ 青少年健全育成 磐田市のスローガンである「人と自分に一日一善」の取り組みを浸透させることで、「小さな行動の積み重ねが、思いやりの心を育み人間形成につながる」ことを伝えたいと考えています。

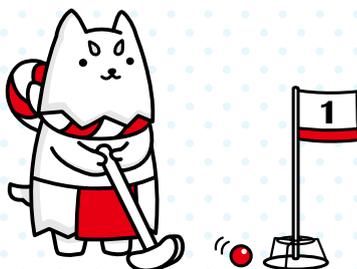
令和の時代に生きる私たちには、「千里の道も一歩から」の活動が求められていると思います。手を取り合い、新しい元号のもと、次世代のために新しい時代を創っていきましょう。

各地域の取りまとめ役

磐田支部

5月1日より新元号「令和」になりました。新しい気持ちで、すばらしい年となって欲しいものです。自治会の目標である「安全で安心」な街の実現のためには、一人ひとりがそれぞれのできることを実践することが大切です。誰かがやってくれることを期待するよりも、自分ができることをやることの積み重ねが「安全・安心」につながっていきます。

磐田支部では、見付・中泉地区では約半分、他地区ではほとんどの自治会が新自治会長に交代しました。新しい時代に、新しい気持ちで頑張っていきたいと思います。本年度もよろしくご支援をお願いします。



磐田支部長
水野 勲



見付地区長
林 浩巳



中泉地区長
星野 勝彦



天竜地区長
玉田 文江



大藤地区長
安達 憲幸



田原地区長
鈴木 通



今之浦地区長
寺田 和芳



長野地区長
古山 晴海



於保地区長
青山 行雄



岩田地区長
鈴木 正康



向笠地区長
三浦 靖男



西貝地区長
磯部 知明



南御厨地区長
藤原 孝一



御厨地区長
寺岡 剛裕

豊田支部

国外では宗教・領土・民族等々の問題で、終わりなき武力衝突やテロにより多くの尊い命が失われています。日本にはこのような紛争はありません。しかし、平和に浸っている暇はありません。いつ治安が悪化し、物騒な時代が来るとも限りません。そのために新時代へ向かって取り組む多くの課題があります。その喫緊対策の一つが、高齢者の交通安全・防犯です。また『改正出入国管理法』施行によって増加する外国人へ、いかに親切に対応し、共存共栄を図るか！豊田支部では、その対策の基本の第一歩が挨拶からだと考え、更なる住みよい平和な「街づくり」を推進したいと思います。(豊田支部挨拶のスローガン…『いつでも・どこでも・だれとでも』)



豊田支部長
島岡 信生



青城地区長
大澤 房男



豊田東地区長
菊池 武光



井通地区長
小橋 俊男



池田地区長
工藤 裕二



富岡地区長
山田 正行

福田支部

自治会の運営は年々難しくなっています。自治会員の高齢化、役員のなり手不足、自治会加入率の低下、クレームの増加、災害時の対応など、どれを取っても一朝一夕には解決ができない課題ばかりです。

自治会連合会の役割は、これら自治会の課題をできるだけ解消し、自治会長の負担軽減を目に見える形で支援することだと思っています。

福田支部では、今年度、初めての試みとして、自治会運営上のトラブルや苦情等の解決に少しでも役立つよう、市の顧問弁護士を招いて自治会長研修会を開催しました。概ね好評だったようです。今後も続けていきたいと思います。



福田支部長
杉浦 聖



豊浜地区長
伊藤 富次夫



西部地区長
守屋 文雄



福田南地区長
星野 秀次郎



福田中地区長
加藤 均



北部地区長
大庭 政志

竜洋支部

現在、自治会連合会と地域づくり協議会は別組織で成り立ち、活動をしています。しかしながら、両組織共に、地域の住民によって成り立っている協力団体です。そこで、地域づくり協議会の中に全ての団体を組み込んでいくという考え方で、活動をしています。

竜洋支部では、以前よりスポーツを通して一体となり、他県の市町村とも交流をして「オール竜洋」の風土を育ててきました。地域が一体となり、目まぐるしく変わる社会に対応をしていきたいと思います。



竜洋支部長
藤田 允



竜洋西地区長
吉野 博行



竜洋東地区長
高橋 英博



竜洋北地区長
村上 賢

豊岡支部

平成から令和に、令和時代の幕開けと共に少子高齢化が更に進む中で、これからの地域づくりには、益々、住民同士の支え合いや絆が大切になります。そして、「自分たちの地域は自分たちで守り、育てる」と言う地域の一体感、地域力が問われてきます。

豊岡支部では、安全で安心な地域づくりに向けて、防災、減災対策を初め、防犯、交通安全活動や福祉、子供若者健全育成活動に、地域づくり協議会と連携を図り、一体となって取り組んでいます。

まずは、「あいさつ・声掛け運動」から…地域住民のみなさん、共に力を合わせてがんばりましょう！
よろしく願いいたします。



豊岡支部長
深田 研典



豊岡北地区長
青野 博美



豊岡南地区長
石川 好三



豊岡東地区長
山下 恭史

平成 31 年度総会報告

平成 30 年度 事業報告・収支決算

4月20日(土)にアミューズ豊田で総会を開催しました。平成30年度事業報告・決算、規約の改正、新役員、平成31年度(令和元年度)の事業計画・予算等はすべて承認されました。

また、永きにわたり自治会活動に積極的に取り組まれた方々へ表彰状授与を行いました。



平成 30 年度収支決算 (磐田市自治会連合会)

収入		支出	
費目	決算額(円)	費目	決算額(円)
会費	1,700,000	会議費	581,516
交付金	8,410,500	事務費	2,693,471
負担金	3,346,000	視察研修費	2,272,824
前年度繰越金	1,470,900	事業活動費	3,718,246
雑収入	44	支部研修費	3,689,825
合計	14,927,444	負担金	506,500
		予備費	10,000
		合計	13,472,382

差引残額 1,455,062 円は翌年度に繰り越す。

平成 31 年度 (令和元年度) 事業計画・収支予算

次の5つの基本方針に沿って、4つの事業に取り組みます。

- ①安全安心の住み良いまちづくりの取り組みを推進する
- ②次世代に自信を持って引き継げる単位自治会の強化を図る
- ③交流センターを核とした地域づくり協議会を定着させ、地域住民主体のまちづくりを推進する
- ④防災、防犯、交通安全、福祉、子ども若者健全育成、多文化共生に関する施策を展開する
- ⑤行政・関係機関・団体との連携を図り地域力の向上を目指す

平成 31 年度 (令和元年度) 収支予算 (磐田市自治会連合会)

収入		支出	
費目	予算額(円)	費目	予算額(円)
会費	1,700,000	会議費	650,000
交付金	7,719,000	事務費	3,236,000
負担金	2,800,000	視察研修費	1,050,000
前年度繰越金	1,455,062	事業活動費	4,300,000
雑収入	938	支部研修費	3,739,000
合計	13,675,000	負担金	500,000
		予備費	200,000
		合計	13,675,000

地域力向上への取り組み事業

SNSによる情報発信、市長と市政について語る会の開催など

防災、減災に向けた取り組み事業

家庭防災の日による自助の推進、災害を想定した訓練の実施

防犯への取り組み事業

青色回転灯装備車による防犯パトロールの強化、振り込め詐欺被害撲滅に向けた取り組みなど

交通安全への取り組み事業

ピカッと作戦(早めのライト点灯と自発光式反射材の着用)の推進、高齢者の交通事故防止に向けた取り組みなど

豊橋市自治会連合会の視察がありました

5月30日(木)に豊橋市自治会連合会の役員約30人の視察があり、磐田市自治会連合会三役(連合会長・副会長6人)が対応しました。

「磐田市自治会連合会のFacebookの情報発信」や「若い人に自治会活動に参加してもらうためにはどうしたらいいか」「防災・減災活動の取り組み」などについて情報交換をしました。



磐田市イメージキャラクター
ひっぴり ©磐田市



【令和元年7月15日発行】

発行:磐田市自治会連合会 編集:磐田市自治会連合会 総務部会
連絡先

磐田市自治会連合会事務局(地域づくり応援課)
TEL(0538)37-4811 <http://www.iwatashi-jichikai.jp>